

法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17

運用ガイド

この度は、「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」は、全国税理士データ通信協同組合連合会の「TACTiCS財務」の会計データを「法人税の達人」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
パターン①「達人Cube」からアップデートする場合	5
パターン②「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
パターン①	
「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	11
パターン②	
「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	12
5.操作方法	13
パターン①	
「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	13
パターン②	
「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	20
6.連動対象項目	29
「TACTiCS財務」から連動するデータ（連動元）	29
「法人税の達人」に連動するデータ（連動先）	30
貸借対照表	31
損益計算書	32
製造原価報告書	33
株主資本等変動計算書	34
個別注記表	35
7.アンインストール方法	36
8.著作権・免責等に関する注意事項	37

1.対応製品

「法人税の達人（平成21年度版 以降） fromTACTiCS財務17」に対応するNTTデータの対応製品及び全国税理士データ通信協同組合連合会の対応製品は以下のとおりです。

対応製品	対応アプリケーション
NTTデータ対応製品	法人税の達人（平成28年度版） Professional Edition
	法人税の達人（平成28年度版） Standard Edition
全国税理士データ通信協同組合 連合会対応製品	TACTiCS財務17

2.動作環境

「法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17」に必要な動作環境は「1.対応製品」(P.3)に記載の「全国税理士データ通信協同組合連合会対応製品」と同様です。



注意

- 「法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」(P.3)に記載の「全国税理士データ通信協同組合連合会対応製品」がインストールされている必要があります。
- 「法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17」の起動中に、「TACTiCS財務」の起動、及びアンインストールを行うことができません。

3.インストール方法

「法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。



注意

インストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

パターン①

「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



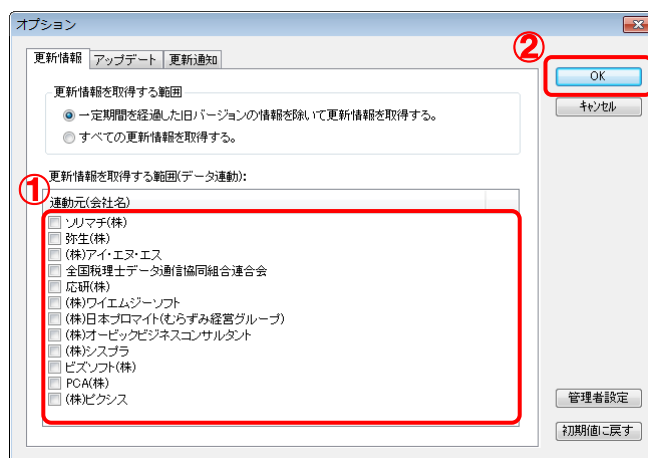
「アップデート」画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



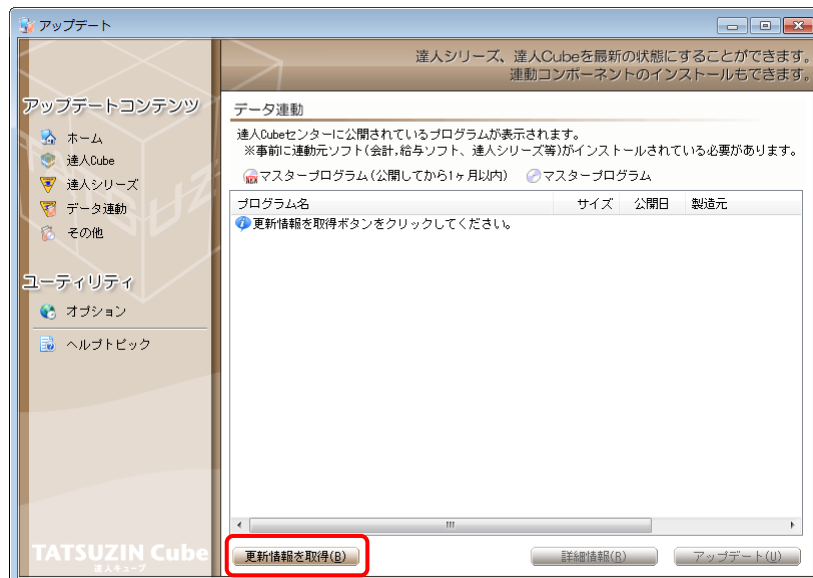
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



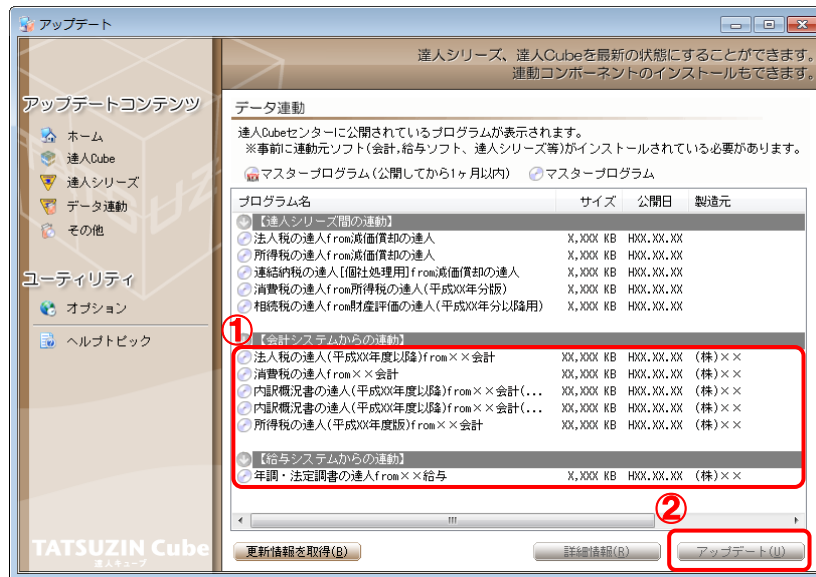
「データ連動」画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[セットアップウィザード] 画面が表示されます。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の指定] 画面が表示されます。

※ インストール先を変更する場合は[参照] ボタンをクリックします。

8. インストール先のフォルダを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール準備完了] 画面が表示されます。

9. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. [セットアップウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17」のインストールは完了です。

パターン②

「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトのページ
(<http://www.tatsuzin.info/rendousoft/>)を開きます。



2. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。
3. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。
画面の一番下に通知バーが表示されます。
4. [保存]ボタンの右端にある[▼]ボタンをクリックし、表示されるメニュー[名前を付けて保存]をクリックします。
[名前を付けて保存]画面が表示されます。
5. 保存する場所を指定し、[保存]ボタンをクリックします。
保存する場所に指定した場所に、ファイルがダウンロードされます。

- 6.** 手順5でダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
[セットアップウィザード] 画面が表示されます。
- 7.** [次へ]ボタンをクリックします。
[インストール先の指定] 画面が表示されます。
※ インストール先を変更する場合は[参照] ボタンをクリックします。
- 8.** インストール先のフォルダを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。
[インストール準備完了] 画面が表示されます。
- 9.** [インストール]ボタンをクリックします。
インストールが開始されます。
- 10.** [セットアップウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」のインストールは完了です。

4.運用方法

「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」は、「TACTiCS財務」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

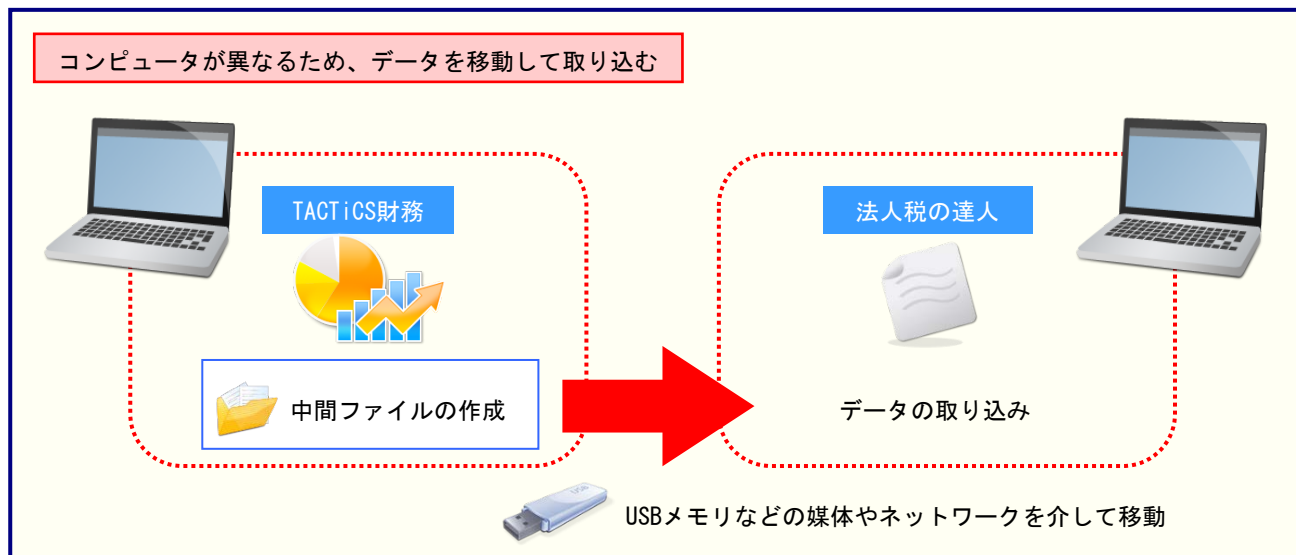
「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」で作成された中間ファイルを直接「法人税の達人」に取り込みます。



パターン②

「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

「TACTiCS財務」がインストールされているコンピュータで中間ファイルを作成し、「法人税の達人」がインストールされているコンピュータで取り込みます。



5.操作方法

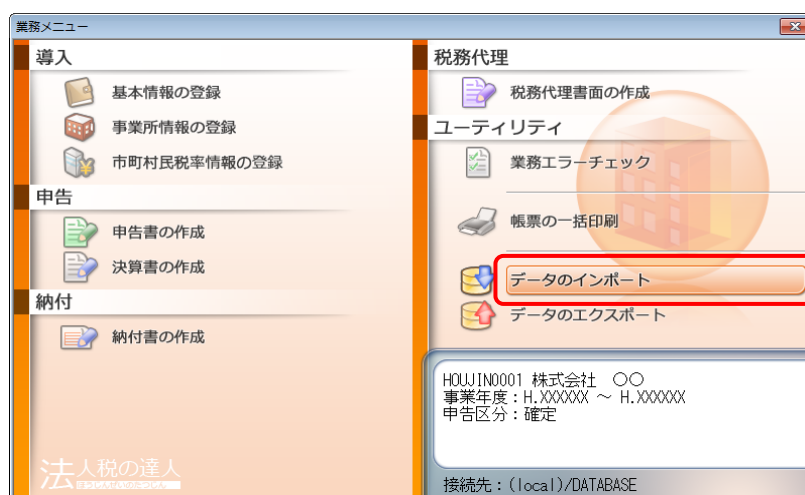
「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」を使って、以下の手順で連動します。
事前に「6.連動対象項目」（P.29）を必ずお読みください。

操作手順は、「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

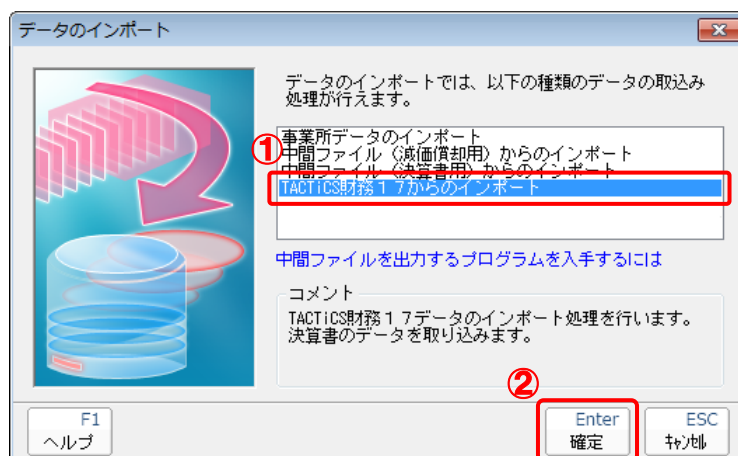
「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

1. 「法人税の達人」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



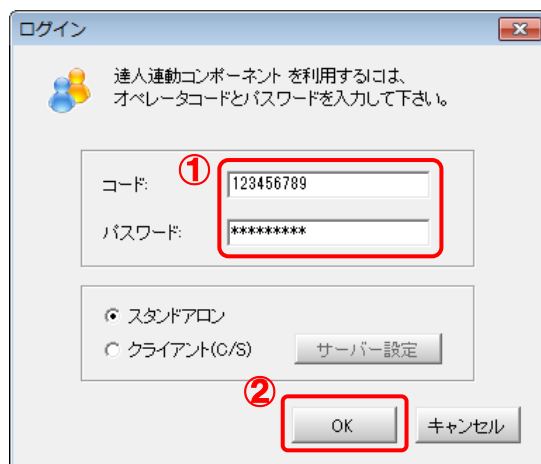
[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [TACTiCS財務17からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



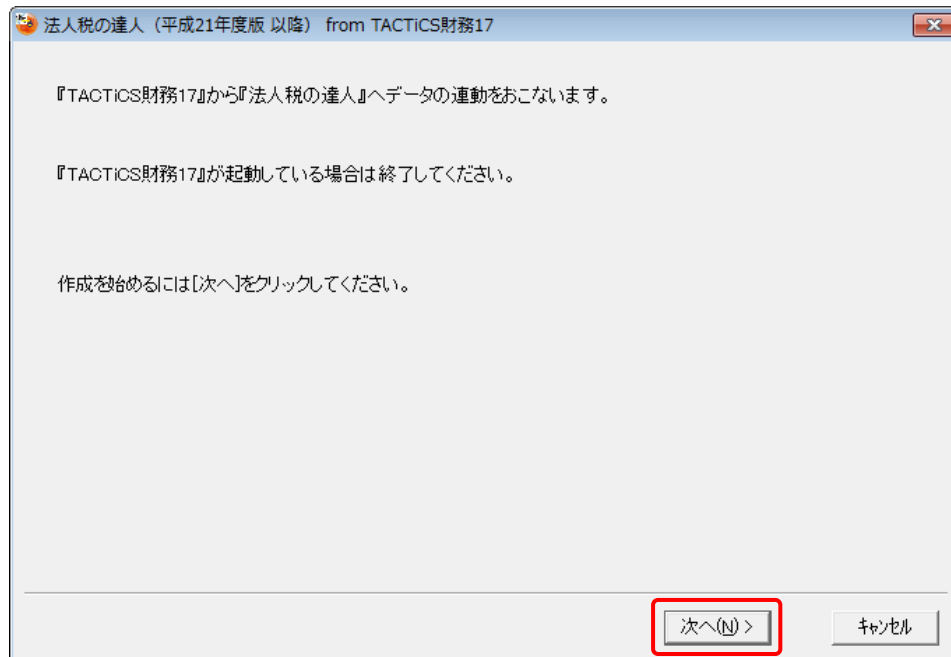
[ログイン] 画面が表示されます。

3. 「TACTiCS財務」で登録したオペレータコードとパスワードを入力し(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



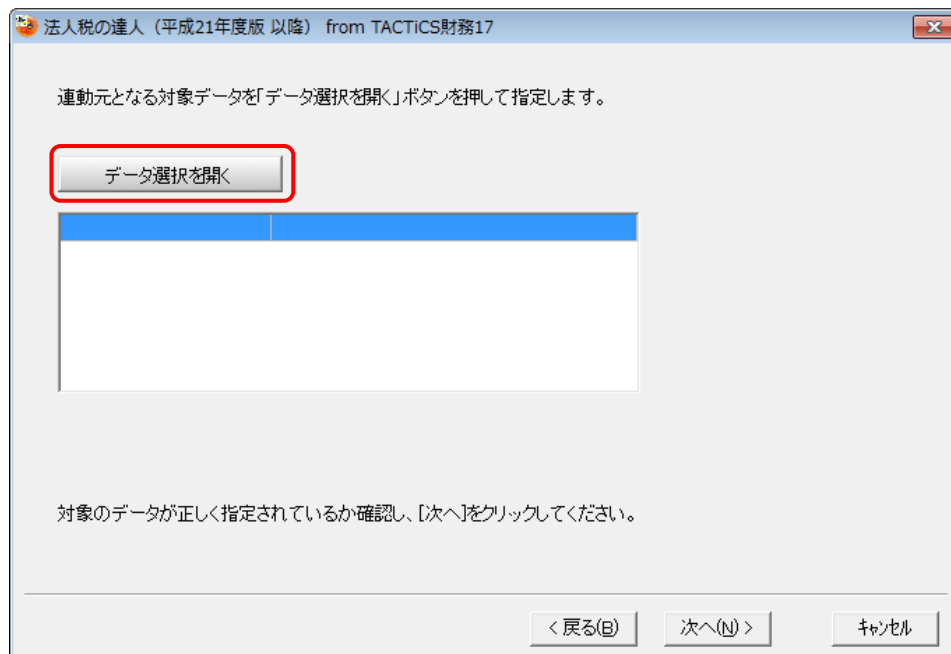
[法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17] 画面が表示されます。

4. [次へ]ボタンをクリックします。



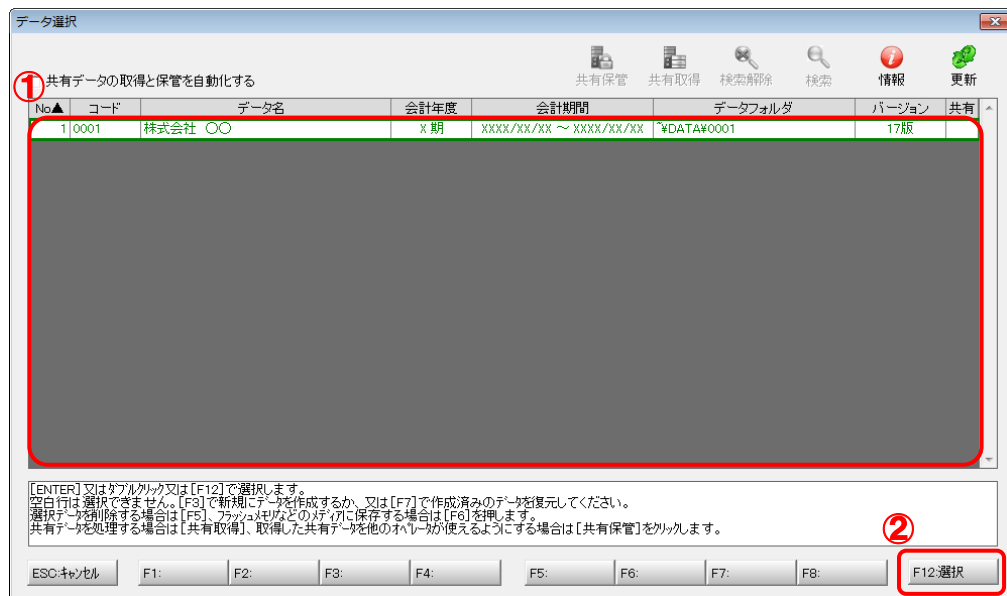
対象データの指定画面が表示されます。

5. [データ選択を開く]ボタンをクリックします。



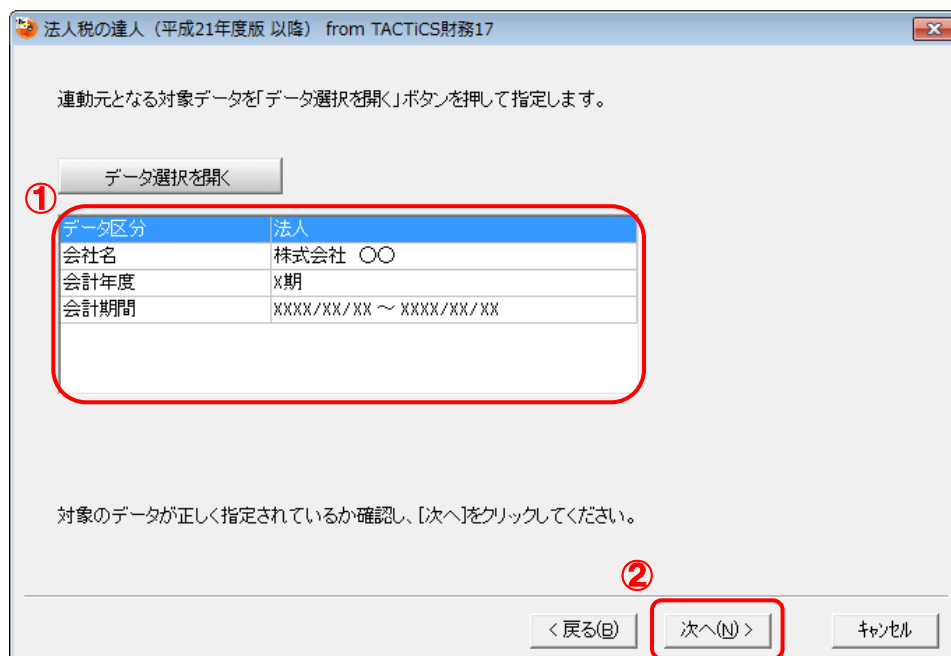
[データ選択] 画面が表示されます。

6. 「法人税の達人」に取り込む「TACTiCS財務」のデータをクリックして選択し(①)、[F12: 選択]ボタンをクリックします(②)。



対象データの指定画面に戻ります。

7. 対象データを確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



計算条件の指定画面が表示されます。

8. 計算条件を指定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人 (平成21年度版 以降) from TACTICS財務17

計算条件を指定してください。

① 計算対象期間
4 5 6 ・ 7 8 9 ・ 10 11 12 ・ 1 2 3 決

期首月～6ヶ月目までを選ぶと上期、7ヶ月目以降を選ぶと通期として処理します。

消費税計算区分
☒ 税込み ☐ 税抜き

計算条件が正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

② < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

株主資本等変動計算書情報の設定画面が表示されます。

9. 株主資本等変動計算書の情報を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人 (平成21年度版 以降) from TACTICS財務17

☒ 株主資本等変動計算書を作成する

株主資本等変動計算書で使用する勘定科目と変動事由の割り当てを設定します。

① [勘定科目]

TACTICS財務17 印刷名称	法人税の達人 使用できる勘定科目
資本金	資本金
新株式申込証拠金	※※ 割り当てしない ※※
資本準備金	資本準備金
資本金・資本準備金減少差益	※※ 割り当てしない ※※
自己株式処分差益	※※ 割り当てしない ※※

[変動事由]

TACTICS財務17 変動事由	法人税の達人 使用できる変動事由
新株の発行	新株の発行
剰余金の配当	剰余金の配当
剰余金の配当に伴う積立	※※ 割り当てしない ※※
当期純利益	当期純利益
自己株式の処分	自己株式の処分

勘定科目、変動事由が正しく割り当てられているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

② < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

設定方法について:
 ①設定したい項目行でマウスをダブルクリックすると「選択がイロガ」が開きます。
 ②「選択がイロガ」のリストより対象項目を選んでください。

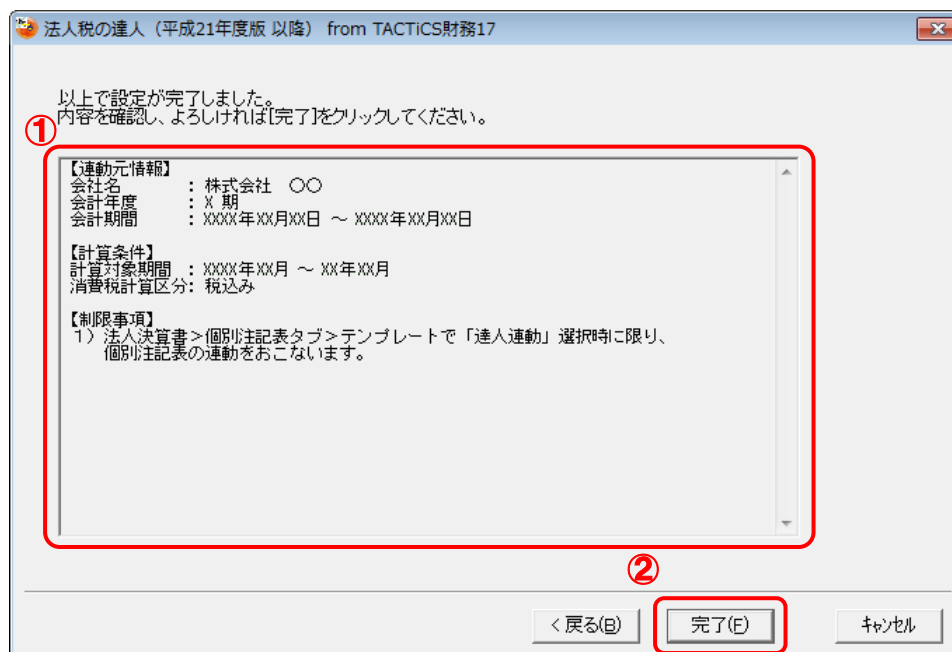
設定した項目の削除について:
 ①削除したい項目行で[Delete]キーを押してください。

確認画面が表示されます。

※ 全ての勘定科目と変動事由の割り当てが完了していないと先に進めません。

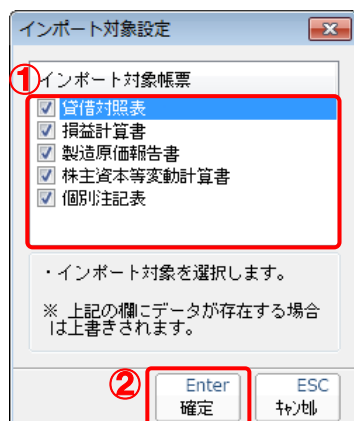
※ 達人側に受け渡しを行わない項目は、項目行をダブルクリックして表示される「使用できる勘定科目／変動事由」画面で、最下行の「※※ 割り当てしない ※※」をクリックして選択します。

10. 内容を確認し(①)、[完了]ボタンをクリックします(②)。



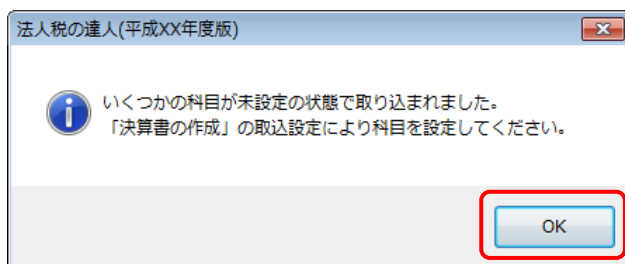
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

11. [インポート対象帳票]を設定し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



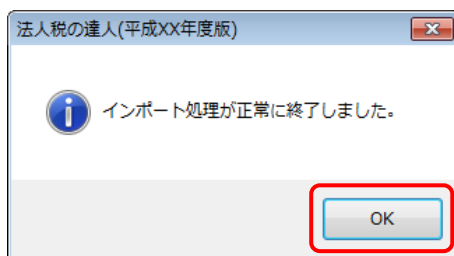
取込設定についてのメッセージが表示されます。

12. [OK]ボタンをクリックします。



終了画面が表示されます。

13. [OK]ボタンをクリックします。



〔業務メニュー〕画面に戻ります。データの作成（中間ファイルの作成）が終了すると同時に、「法人税の達人」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「法人税の達人」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『法人税の達人 運用ガイド』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

パターン②

「TACTiCS財務」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

1. Windowsのスタートメニュー[すべてのプログラム]－[達人シリーズ]－[連動コンポーネント]－[法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17]をクリックします。

[ログイン] 画面が表示されます。

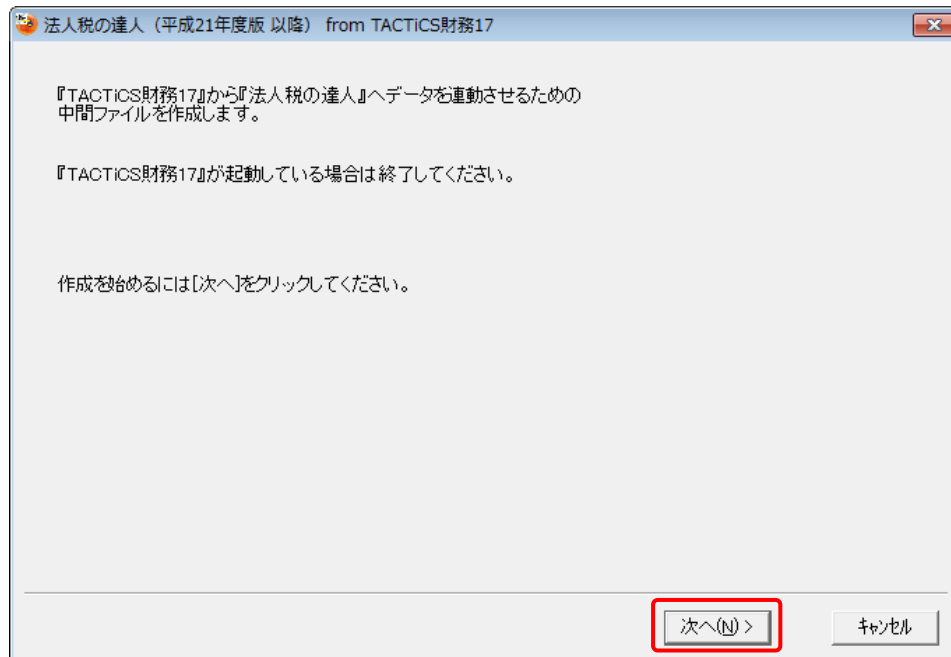
※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートメニュー [すべてのアプリ] － [達人シリーズ] － [連動コンポーネント] － [法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17] をクリックします。

Windows 8.1の場合は、[アプリ] 画面に表示されている [法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17] をクリックします。

2. 「TACTiCS財務」で登録したオペレータコードとパスワードを入力し(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。

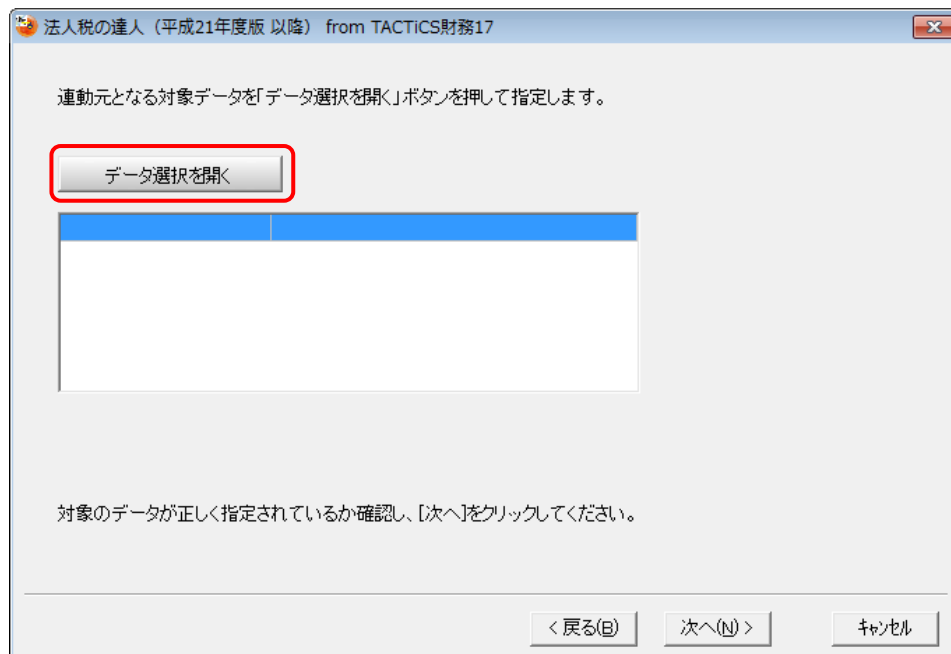
[法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17] 画面が表示されます。

3. [次へ]ボタンをクリックします。



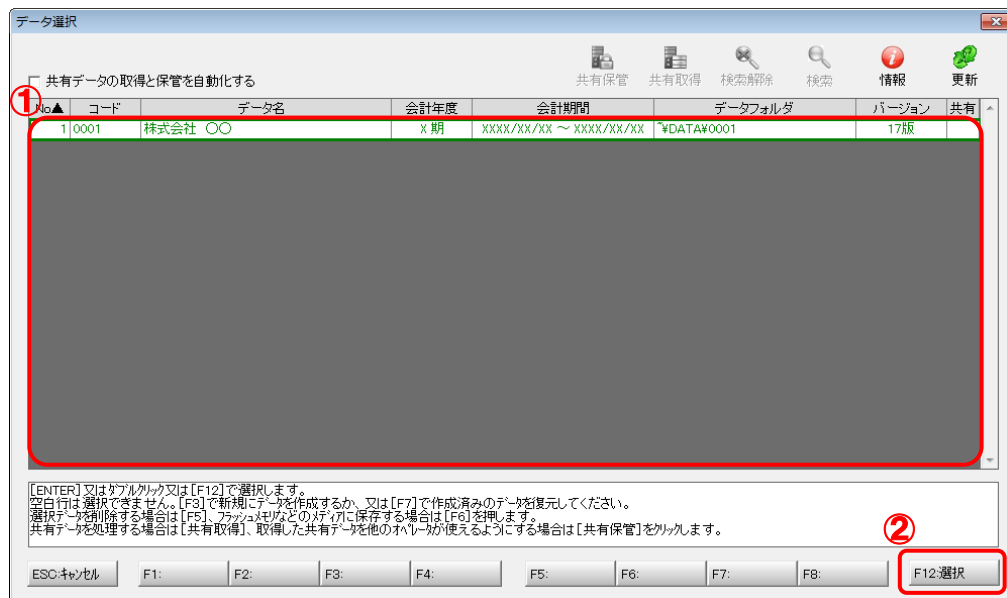
対象データの指定画面が表示されます。

4. [データ選択を開く]ボタンをクリックします。



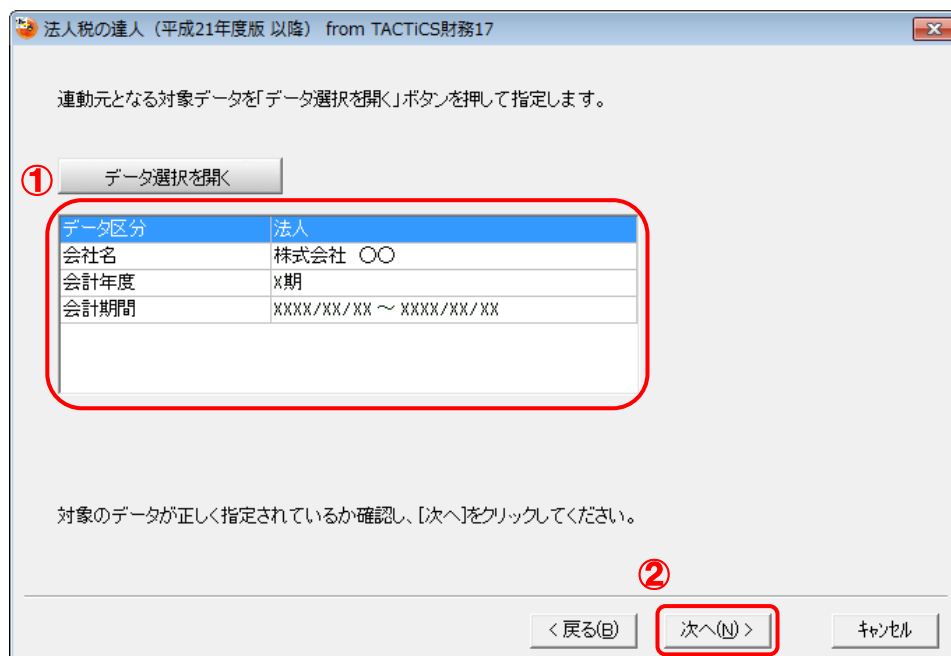
[データ選択] 画面が表示されます。

5. 「法人税の達人」に取り込む「TACTiCS財務」のデータをクリックして選択し(①)、[F12: 選択]ボタンをクリックします(②)。



対象データの指定画面に戻ります。

6. 対象データを確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



計算条件の指定画面が表示されます。

7. 計算条件を指定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人 (平成21年度版 以降) from TACTICS財務17

計算条件を指定してください。

① 計算対象期間
4 5 6 ・ 7 8 9 ・ 10 11 12 ・ 1 2 3 決

期首月～6ヶ月目までを選ぶと上期、7ヶ月目以降を選ぶと通期として処理します。

消費税計算区分
☒ 税込み ☐ 税抜き

計算条件が正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

② < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

株主資本等変動計算書情報の設定画面が表示されます。

8. 株主資本等変動計算書の情報を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人 (平成21年度版 以降) from TACTICS財務17

☒ 株主資本等変動計算書を作成する

株主資本等変動計算書で使用する勘定科目と変動事由の割り当てを設定します。

① [勘定科目]

TACTICS財務17 印刷名称	法人税の達人 使用できる勘定科目
資本金	資本金
新株式申込証拠金	※※ 割り当てしない ※※
資本準備金	資本準備金
資本金・資本準備金減少差益	※※ 割り当てしない ※※
自己株式処分差益	※※ 割り当てしない ※※

[変動事由]

TACTICS財務17 変動事由	法人税の達人 使用できる変動事由
新株の発行	新株の発行
剰余金の配当	剰余金の配当
剰余金の配当に伴う積立	※※ 割り当てしない ※※
当期純利益	当期純利益
自己株式の処分	自己株式の処分

勘定科目、変動事由が正しく割り当てられているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

② < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

設定方法について:
①設定したい項目行でマウスをダブルクリックすると「選択ダイアログ」が開きます。
②「選択ダイアログ」のリストより対象項目を選んでください。

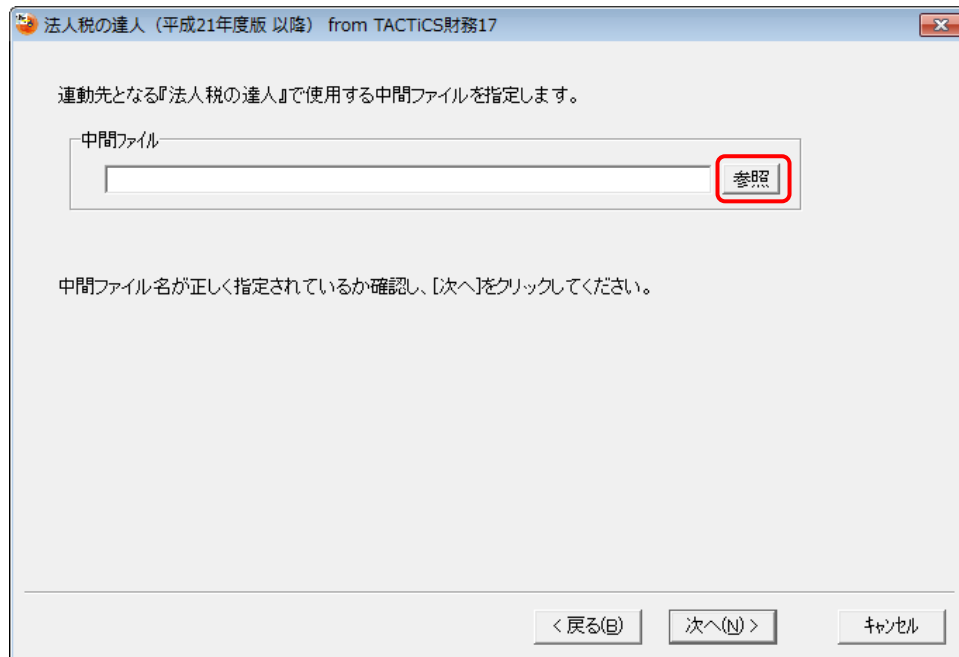
設定した項目の削除について:
①削除したい項目行で[Delete]キーを押してください。

中間ファイルの指定画面が表示されます。

※ 全ての勘定科目と変動事由の割り当てが完了していないと先に進めません。

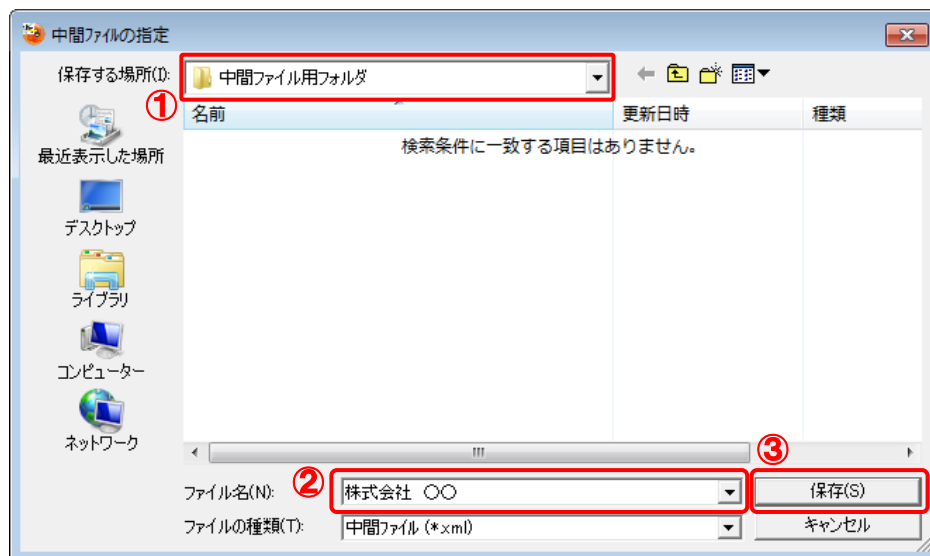
※ 達人側に受け渡しを行わない項目は、項目行をダブルクリックして表示される「使用できる勘定科目／変動事由」画面で、最下行の「※※ 割り当てしない ※※」をクリックして選択します。

9. [参照]ボタンをクリックします。



[中間ファイルの指定] 画面が表示されます。

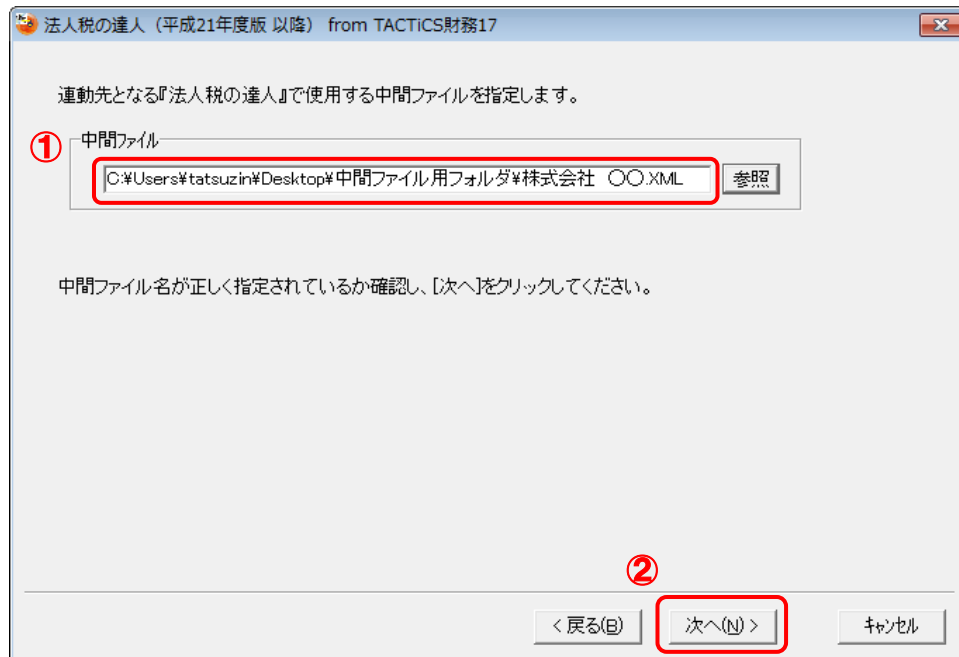
10. [保存する場所](①)と[ファイル名]を指定し(②)、[保存]ボタンをクリックします(③)。



中間ファイルの指定画面に戻ります。

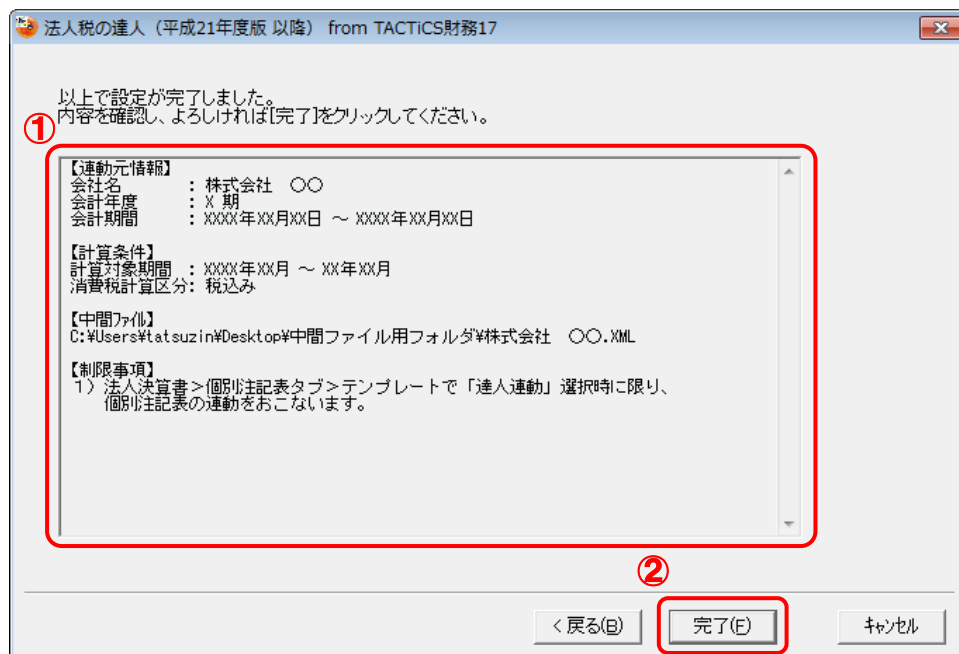
※ 出力先のファイル拡張子にはxmlを指定してください。

11. [中間ファイル]を確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



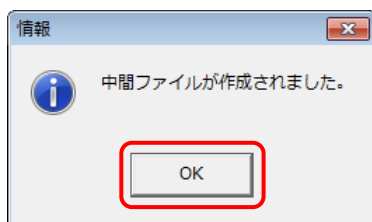
確認画面が表示されます。

12. 内容を確認し(①)、[完了]ボタンをクリックします(②)。



終了画面が表示されます。

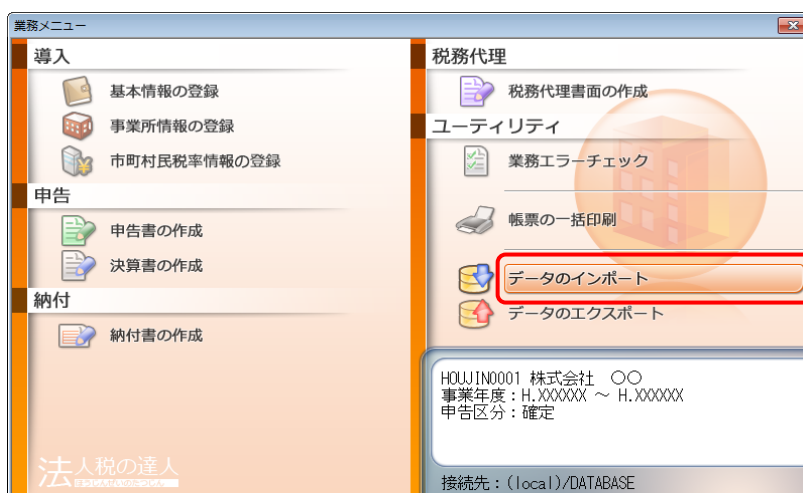
13. [OK]ボタンをクリックします。



手順10で指定した〔保存する場所〕に、中間ファイルが作成されます。

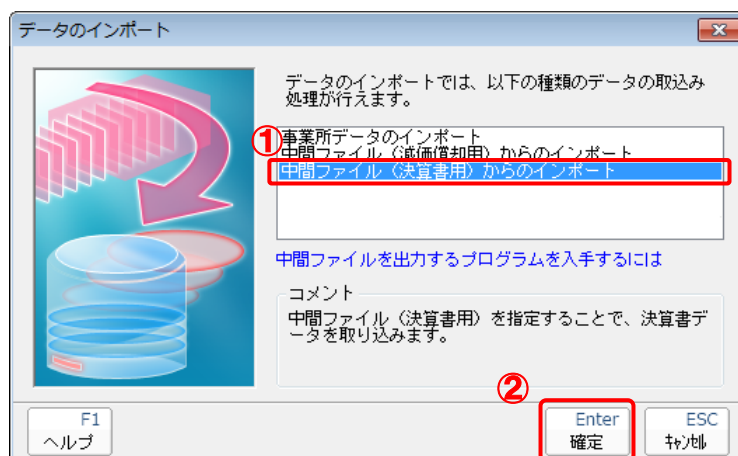
14. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「法人税の達人」がインストールされているコンピュータに移動します。

15. 「法人税の達人」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



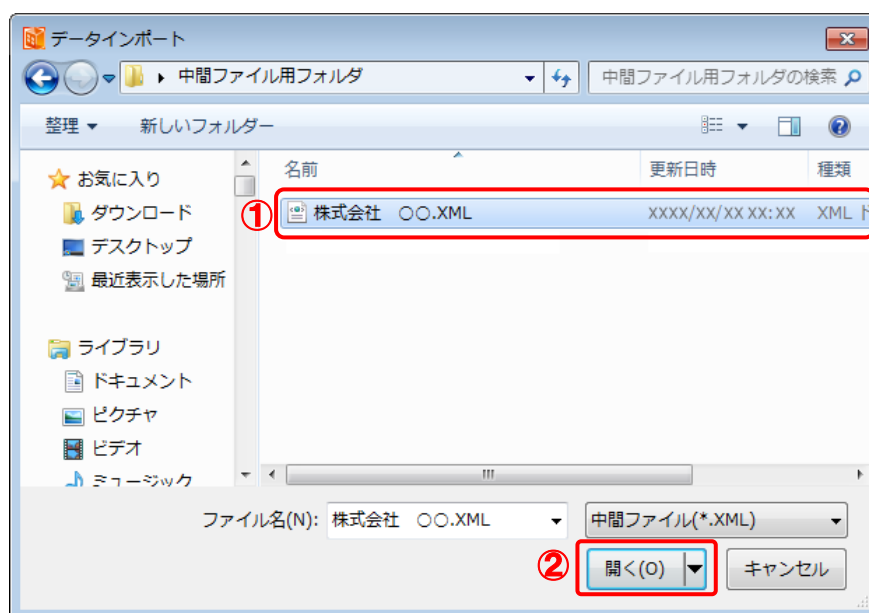
〔データのインポート〕画面が表示されます。

16. [中間ファイル(決算書用)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



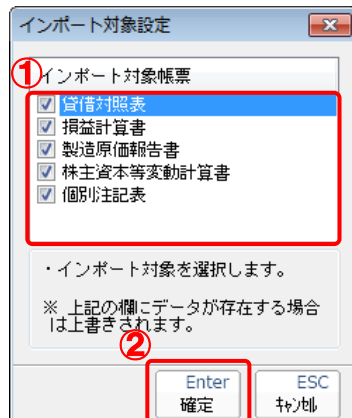
[データインポート] 画面が表示されます。

17. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



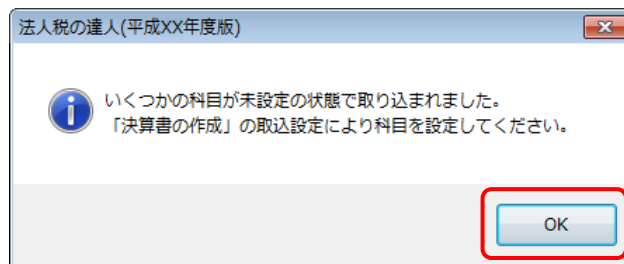
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

18. [インポート対象帳票]を設定し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



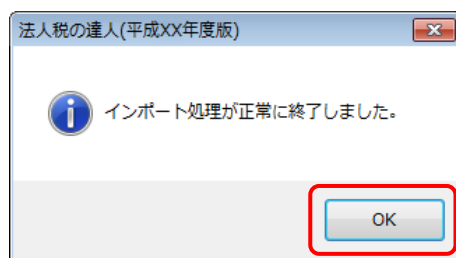
取込設定についてのメッセージが表示されます。

19. [OK]ボタンをクリックします。



終了画面が表示されます。

20. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

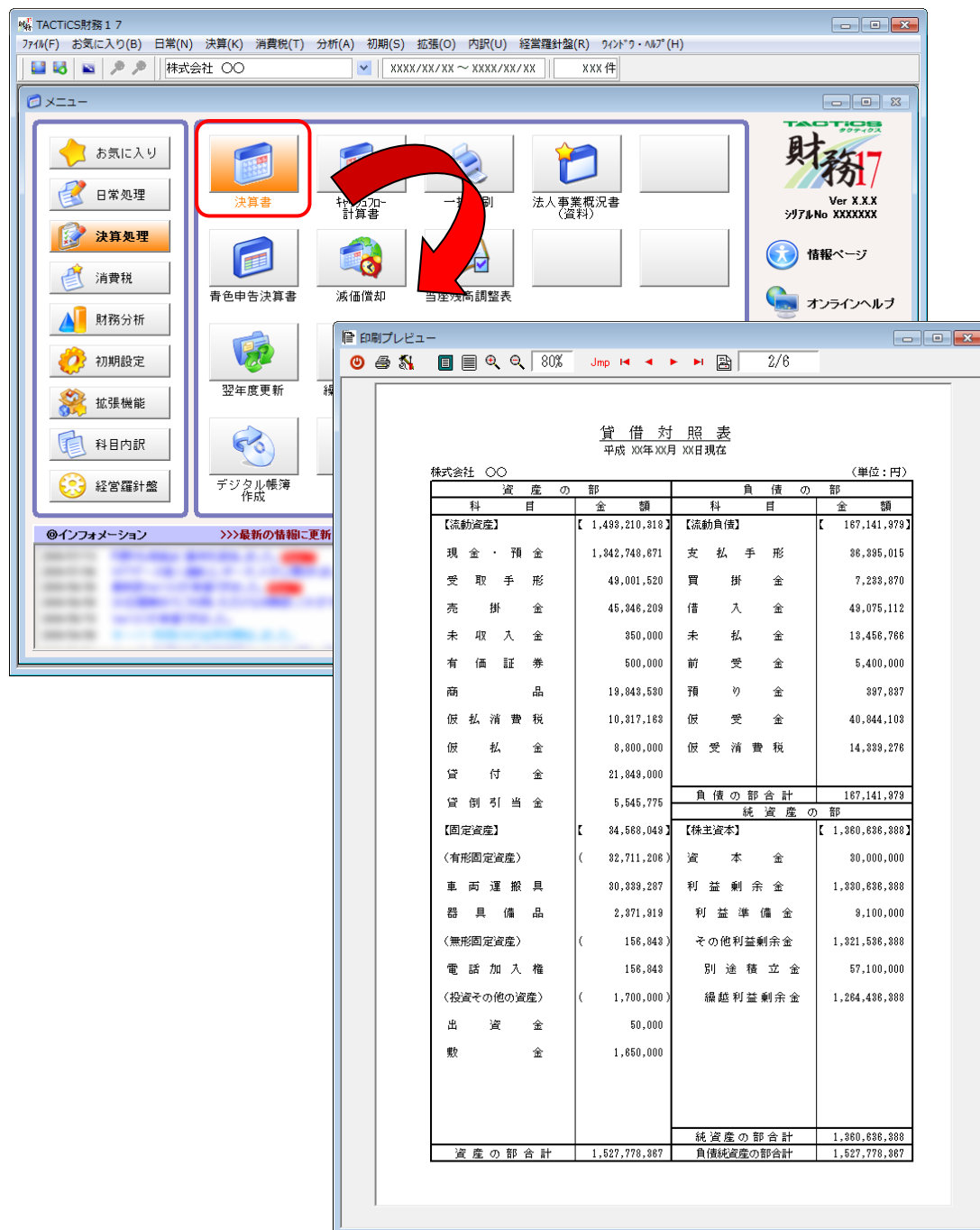
連動後には、「法人税の達人」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『法人税の達人 運用ガイド』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

6.連動対象項目

「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」では、「TACTiCS財務」の決算書よりデータを取り込みます。

「TACTiCS財務」から連動するデータ(連動元)

「TACTiCS財務」からはメニュー「決算処理」－「決算書」のデータが連動されます。



The screenshot shows the TACTiCS財務17 application window. In the left-hand menu, the '決算処理' (Financial Statement Processing) option is highlighted with a red box. A red arrow points from this menu item to a preview window titled '印刷プレビュー' (Print Preview). The preview window displays a balance sheet (貸借対照表) for a company (株式会社 ○○) for the current period (平成 XX年 XX月 XX日現在). The table is organized into two main sections: '資産の部' (Assets) and '負債の部' (Liabilities), each further divided into '流動' (Current) and '固定' (Fixed) categories. The table includes various line items such as cash, receivables, payables, and equity, with their respective amounts in Japanese Yen (円).

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	1,499,210,918	【流動負債】	167,141,979
現金・預金	1,342,748,871	支払手形	96,895,015
受取手形	49,001,520	買掛金	7,288,870
売掛金	45,346,209	借入金	49,075,112
未収入金	350,000	未払金	13,456,768
有価証券	500,000	前受金	5,400,000
商品	19,849,530	預り金	987,887
仮払消費税	10,317,169	仮受金	40,044,109
仮払金	8,800,000	仮受消費税	14,898,276
貸付金	21,849,000		
貸倒引当金	5,645,775	負債の部合計	167,141,979
【固定資産】	34,568,049	純資産の部	
有形固定資産	32,711,206	【株主資本】	1,960,636,388
車両運搬具	30,399,287	資本金	30,000,000
器具備品	2,371,919	利益剰余金	1,930,636,388
無形固定資産	156,843	利益準備金	9,100,000
電話加入権	156,843	その他利益剰余金	1,921,536,388
〈投資その他の資産〉	1,700,000	別途積立金	57,100,000
出資金	50,000	繰越利益剰余金	1,284,436,388
敷金	1,650,000		
資産の部合計	1,527,778,967	純資産の部合計	1,960,636,388
		負債純資産の部合計	1,527,778,967

「法人税の達人」に連動するデータ(連動先)

「法人税の達人」に連動する帳票は以下のとおりです。次ページ以降の各画面の網掛け部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表
損益計算書
製造原価報告書
株主資本等変動計算書
個別注記表



注意

「個別注記表」は、「TACTiCS財務」の〔法人決算書〕画面－〔個別注記表〕タブ－〔テンプレート〕で〔達人連動〕を選択している場合のみ連動対象となります。

貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
資産の部		資産合計
流動資産		流動資産合計
当座資産		
現金及び預金		現金及び預金合計
現金		
小口現金		
預金		
当座預金		
郵便振替貯金		
普通預金		
郵便貯金		
通知預金		
納税準備預金		
貯蓄預金		
その他の流動性預金		
定期預金		
定期積金		
積立預金		
別段預金		
特定金銭信託		
その他の固定性預金		
その他の預金		
受取手形(純額)		純額

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

Enter 選択

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
営業活動による収益		
商品売上高		純額
商品総売上高		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 商品売上上の値引戻り
製品売上高		純額
製品総売上高		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 製品売上上の値引戻り
半製品売上高		
副産物売上高		
作業くず売上高		
割賦販売売上高		純額
割賦総売上高		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 割賦販売売上上の値引戻り
貸貨収入		純額
貸貨総収入		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 貸貨収入の値引戻り
加工料収入		
完成工事高		純額
兼業事業売上高		純額
兼業売上高		
兼業売上値引戻り高		
兼業売上割戻		
商品製品等売上高		純額

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | **製造原価報告書** | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
仕入原価		
期首たな卸高		
商品仕入高		
仕入値引・戻し高		
合計		
期末たな卸高		
材料費		当期材料費合計額を登録
期首原材料たな卸高		
当期原材料仕入高		
非課税原材料仕入		
薬品仕入高		
診療材料仕入高		
給食材料仕入高		
医療消耗備品仕入高		
原材料仕入値引戻し高		プラスの金額を登録
原材料割戻し高		プラスの金額を登録
その他の原材料仕入高		
合計		
期末原材料たな卸高		プラスの金額を登録
主要材料費		
補助材料費		
労務費		当期労務費合計額を登録
建設労務費		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

Enter 選択

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F5 企業情報
 F7 利益処分
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字

株主資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
株主資本		
資本金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
国庫等補助金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高		
指定寄付金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

ヘルプ F1
 閉じる F2
 検索 F3
 企業情報 F5
 利益処分 F7
 印刷 F9
 取込設定 F11
 漢字 F12
 Enter 選択

個別注記表

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

注記事項	設定内容
継続企業の前提に関する注記	
重要な会計方針に係る事項に関する注記	
資産の評価基準及び評価方法	
有価証券の評価基準及び評価方法	
たな卸資産の評価基準及び評価方法	
固定資産の減価償却の方法	
引当金の計上基準	
収益及び費用の計上基準	
その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項	
金利の取得原価算入	
その他	
項目名	
内容	
会計処理の原則又は手続の変更	
表示方法の変更	
貸借対照表に関する注記	
担保資産及び担保付債務	
資産の部から直接控除した貸倒引当金	
流動資産	
投資その他の資産	
有形固定資産の減価償却累計額	
保証債務額	
受取手形割引高	

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない

☐ 金額又は値がない科目を表示しない

Enter 選択

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字

7.アンインストール方法

「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

1. Windowsのスタートメニュー[コントロールパネル]をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートボタンを右クリックし、表示されるメニューから「コントロールパネル」をクリックします。

Windows 8.1の場合は、「アプリ」画面に表示されている「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」を右クリックし「アンインストール」をクリックし、手順3に進みます。

2. 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

※ 「コントロールパネル」画面をアイコン表示にしている場合は、「プログラムと機能」をクリックします。

3. 「法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17」をクリックして選択し、「アンインストール」をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「はい」ボタンをクリックします。

終了画面が表示されます。

5. 「OK」ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人（平成21年度版 以降）fromTACTiCS財務17」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- 「法人税の達人(平成21年度版 以降) fromTACTiCS財務17」のソフトウェア製品全体の著作権、工業所有権の一切の知的財産権は全国税理士データ通信協同組合連合会に帰属するものとします。
- 「法人税の達人(平成21年度版 以降) fromTACTiCS財務17」の複製物(バックアップ・コピー)は、不慮の事故に備えて1部のみ作成することができます。
- 「法人税の達人(平成21年度版 以降) fromTACTiCS財務17」を使用した結果の損害及び影響について、原因のいかんを問わず、弊社及び全国税理士データ通信協同組合連合会は一切の賠償の責任を負いません。
- 「法人税の達人(平成21年度版 以降) fromTACTiCS財務17」のプログラム及びドキュメント等の一部または全部をどのような場合でもその形態を問わず無断で解析・改造・配布等を行うことはできません。
- 「法人税の達人(平成21年度版 以降) fromTACTiCS財務17」のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

**法人税の達人(平成21年度版 以降)fromTACTiCS財務17
運用ガイド**

平成29年1月31日初版
